

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>脳血管内治療患者の治療と予後に関する後方視的研究</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>脳神経センター 脳血管内治療科 科長 根木 宏明</p>
<p>利用目的</p>	<p>脳血管内治療においては、代表的なものとして、脳動脈瘤に対する脳血管内手術(脳動脈瘤コイル塞栓術)、頭蓋内・外血管狭窄に対する血管拡張術、脳血管奇形に対する塞栓術、急性期脳梗塞に対する急性期血行再建術等が挙げられるが、これらの治療成績や疾患傾向等の研究を行うのがこの研究の目的である。また、日本脳神経外科学会が主導で取り組んでいる Japan Neurosurgical Database (JND) 事業に参加する。詳細は、 http://jns.umin.ac.jp/public/studyinfo を参照。</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日に当科にて脳血管内治療が施行された患者全例が対象である。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>当院にて施行された脳血管内治療のデータを抽出し、疾患ごとあるいは手術手技ごと等の部分解析も加え、患者背景、手技、使用機器、時期等の違いによる臨床成績の解析を行い、学会発表・論文にて公表する。データ収集方は、既存の臨床データを、個人情報情報を匿名化した状態で診療情報システムから抽出する。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>脳神経センター長 吉川 雄一郎 代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>ご不明な点はお問い合わせください。</p>